

妹が僕に映画をつくらせた



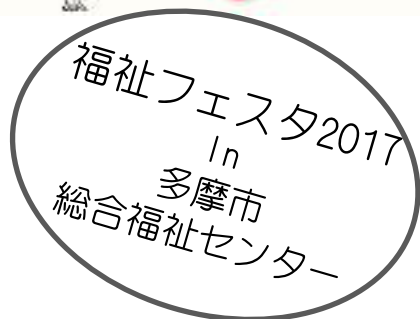
妹と母を1年間取り続けた、家族の物語

ちづる

自主上映会のご案内

<http://chizuru-movie.com/>

監督・編集：赤崎正和／製作：池谷 薫（2011年/79分/字幕あり）



10月15日(日)

午前の部：10:15開場 10:30上映 午後の部：13:10開場 13:30上映

会場：多摩市総合福祉センター（多摩市南野3-15-1 小田急唐木田駅より徒歩8分）

午前の部／3階多目的フロア 午後の部／5階視聴覚室

参加無料/予約不要(当日直接会場へお越しください)

定員：午前の部／80名(お子様連れスペースあり) 午後の部／50名

主催：多摩社会福祉士会

妹のことをどう説明したらいいかわからない。 だから言葉で伝えるかわりにカメラを向けることにした。

立教大学現代心理学部映像身体学科の赤崎正和が監督したドキュメンタリー「ちづる」。自身の卒業制作として企画されたこの映画は、重度の知的障害と自閉症をもった赤崎の妹・千鶴とその母を1年に渡り撮り続けた、みずみずしくも優しい家族の物語である。最も身近な存在でありながら正面から向き合えなかった妹にカメラで対話した監督は、映画を撮り終える頃、家族との新しい関係を築きあげている自分に気づく。作者の精神的な成長がいみじくも映像に刻印されてしまった稀有なドキュメンタリーの誕生。“若さ”が成し遂げた映画の奇跡がここにある。



自閉症について

先天的な脳機能の障害のために、発達期にさまざまな行動特性が明らかになる。人によって障害の現れ方は異なるが、他者とうまくコミュニケーションがとれない、視線を合わせにくい、周りの雰囲気を感じ取れない、同じ行動や動作を繰り返す、特定の物や場所に強いこだわりがある、といった特徴があげられる。最近ではアスペルガー症候群も含めて自閉症スペクトラム障害という場合が多く、100人に1人程度いると見られている。



制作、配給、宣伝はすべて立教大生が担当。
大学の教員と学生が映画界に挑戦！
立教大学卒業制作、奇跡の全国ロードショー上映中！